

令和元年度 摂食指導研修会

健康教育部学校給食係

日時：令和元年5月10日（金）15:45～16:45

講師：福島県総合療育センター耳鼻咽喉科医師 鈴木 雪恵先生

演題：「嚥下のメカニズムと摂食嚥下障害への対応」

「食べる動きに関する咽頭・喉頭のメカニズムを知る。」「摂食指導の基礎的な知識を得る。」を目的に、鈴木雪恵先生のご厚意によるご講義をいただきました。普段給食指導を行っている私達教職員は、発達段階に応じた指導と摂食嚥下機能障害の予防の意識を強くもつことができ、大変役立つ講義となりました。また、本校の食形態についても話していただき、児童生徒の実態に応じた再調理の工夫、今後の形態の調整に役立てていきたいと思いました。この研修会で学んだことを教職員で共通理解を図り、より「安全でおいしく楽しい食事」を目指していきたいと思えます。

<講義の内容>

- 摂食嚥下のしくみについて
- 摂食嚥下障害の症状とリスクについて（誤嚥性肺炎、窒息など）
- 摂食嚥下障害に対する具体的な対応
 - ・栄養摂取の方法（経管、胃ろうなど）
 - ・咀嚼障害への対応
 - 〔食形態の調整、トロミ調整食品の使用、栄養補助食品の使用、姿勢の調整、食具の工夫、嚥下方法の指導、嚥下体操、口腔ケア など〕
- 本校の食形態と摂食時の工夫



<職員の感想から>

- 嚥下のしくみがよく分かりました。
- 摂食嚥下障害のリスクを理解することで、安心・安全な摂食指導ができると思いました。
- 摂食時に気を付けるポイントや口腔ケアの重要性を知ることができました。
- 誤嚥防止のために、食形態を工夫することの大切さを知ることができました。
- トロミ調整食品の種類、トロミ具合などは児童生徒それぞれに適したものを選ばなければならないことを学びました。